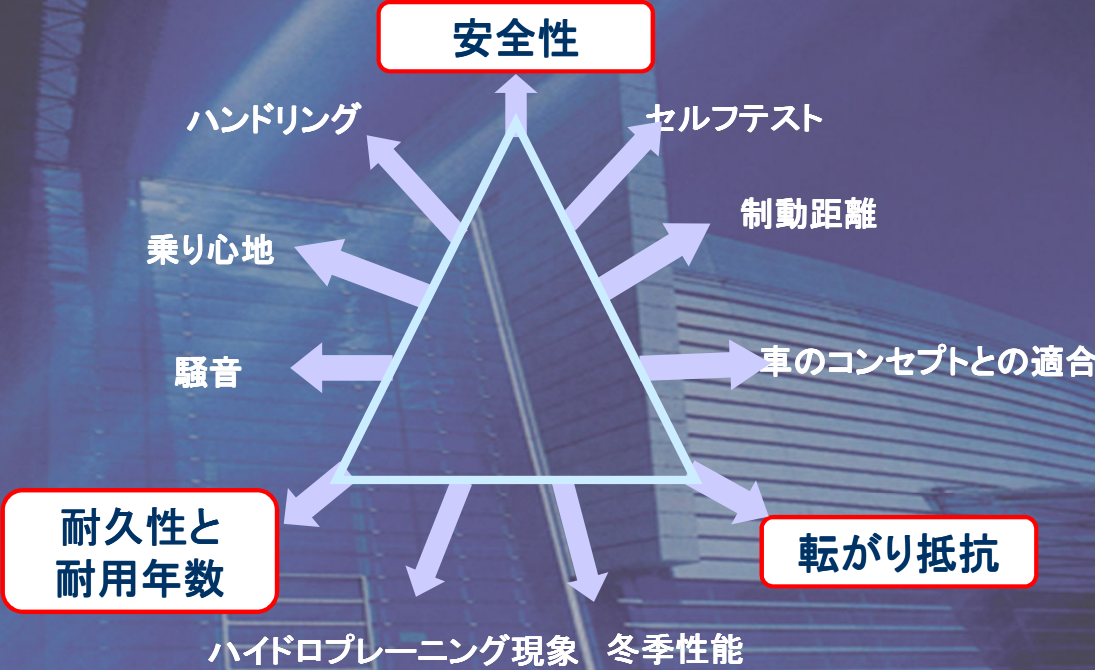




環境にやさしいタイヤとタイヤラベリング制度

ミュンヘン工科大学 経営学教授 ホルスト・ヴィルデマン

タイヤ性能の「マジックトライアングル」

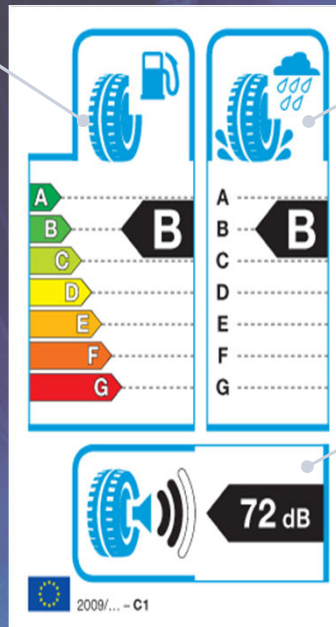


➡ **タイヤ性能は安全性、耐久性、転がり抵抗によって決定**

EU地域における法規制

EU規則(1222/2009)によるタイヤのラベリング制度

転がり抵抗



ウェットグリップ性能

騒音

タイヤ性能の透明化



エコロジー



経済効果



タイヤ騒音



安全性

➡ タイヤ性能の明確な表示による、消費者に対する情報の透明化

正しいタイヤの選択が消費者にもたらす利益

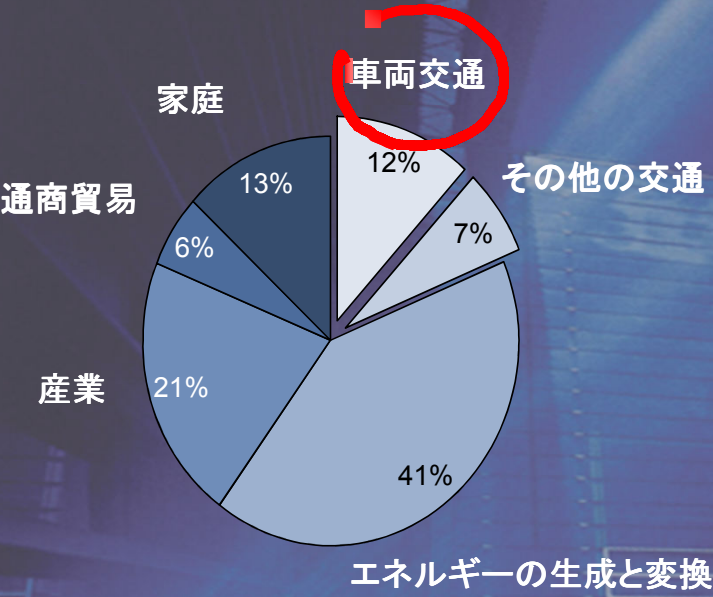
エコタイヤが消費者にもたらす利益の試算



➡ 走行距離30,000kmあたりで最大1,000ユーロ (10万5千円※1) のコスト削減

※1 2011年11月14日現在のレート (1ユーロ: 約105円)

エコタイヤによるCO₂削減の可能性



タイヤによる地球温暖化の可能性を約9.5%低減



ドイツで
年間200万トンの
CO₂排出削減

➡ ドイツでは車両交通によるCO₂排出量を年間最大200万トン削減可能に

エコタイヤの効果



ゴム混合物の改善

新しい加硫促進剤

粒子状物質の排出: 30%削減



タイヤ形状の調整

トレッドパターンの調整

ゴム混合物の改善

タイヤ騒音: 20%低減

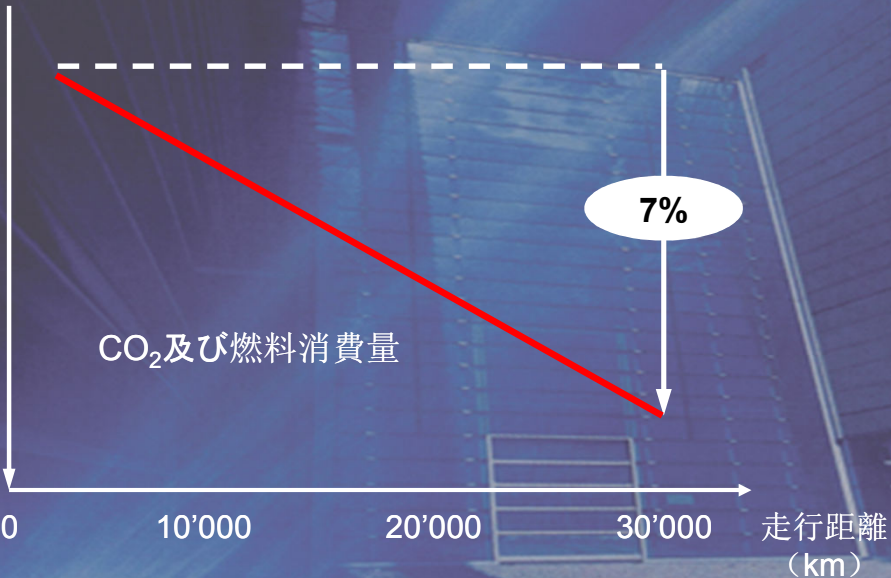
▶ 粒子状物質の排出量削減とタイヤ騒音の低減に高い効果

エコタイヤの効果



乗用車用エコタイヤ

削減量(リットル、kg)



経済効果とエコロジー効果

- ➡ 1,000ユーロ (10万5千円※1) のコスト削減
- ➡ 700kg のCO₂排出量 削減
- ➡ 粒子状物質排出量を30% 削減
- ➡ タイヤ騒音を20% 低減

乗用車で年間走行距離
30,000 kmに対する効果

➡ 車の燃料消費量に加え、CO₂排出量、粒子状物質、タイヤ騒音量を低減

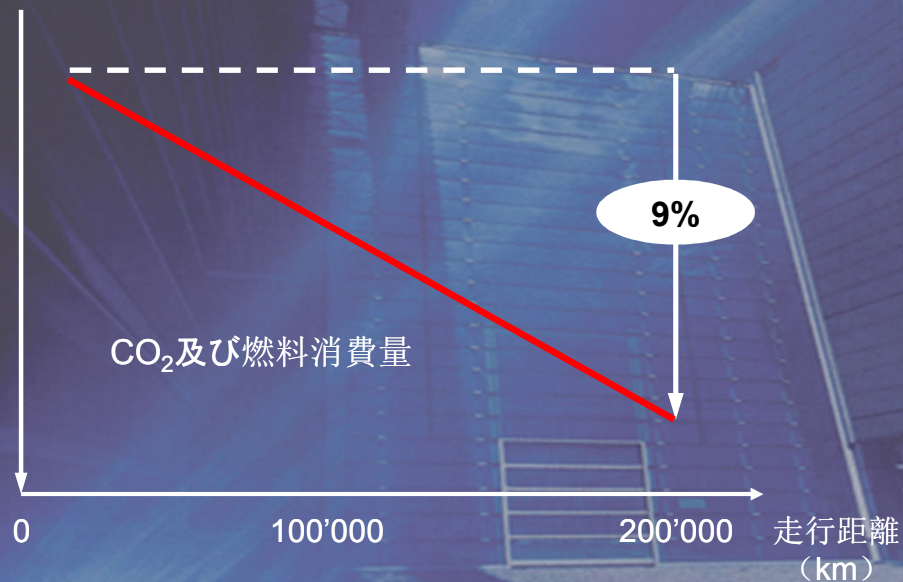
※1 2011年11月14日現在のレート(1ユーロ:約105円)

コスト削減の可能性



トラック用エコタイヤ

削減量(リットル、kg)



経済効果とエコロジー効果

- ➡ 22,000ユーロ (231万円※1) のコスト削減
- ➡ 44 t のCO₂排出量 削減
- ➡ 粒子状物質排出量を30% 削減
- ➡ タイヤ騒音を20% 低減

40tの大型トレーラーで
年間走行距離20万km に対する効果

➡ エコタイヤによって、40t大型トレーラーで22,000ユーロ(231万円※1)の削減

※1 2011年11月14日現在のレート(1ユーロ:約105円)

www.tcw.de